

地区の概要

当地区は都心から北へ約10kmに位置し、本市の中でも最も古くから開拓された地区の一つですが、農業用倉庫等の未利用地が多く、公共施設が未整備な状態であることから、駅前通・駅前広場の整備をはじめJR学園都市線の高架化などの整備が求められていました。

そこで、一体的な再開発を望む地元の機運の高まりに伴い、平成10年に再開発事業の都市計画決定を行いました。

当初は、区域内の建物をはじめ、道路・駅前広場・公園を一体の再開発事業として行うことを予定していましたが、事業化されないまま時間が経過していました。

このような状況の中、地区内の一部において、個人施行による保育園建設が、平成17年10月に厚生労働省の補助を受けて事業完了しており、また、平成19年2月には都市計画決定の変更を受け、本市初の再開発会社施行が平成19年3月に認可され、平成21年5月に工事が完了しました。

① JR篠路駅西第1地区

第一種市街地再開発事業

(平成16~17年度 個人施行)

生まれ変わるまちにふさわしい、次世代の子育て支援施設を整備



篠路高洋保育園

② JR篠路駅西第2地区

第一種市街地再開発事業

(平成18~21年度 再開発会社施行)

篠路駅周辺のまちづくりに新しい風を吹き込む新工リア



分譲住宅棟,借上市営住宅A棟,B棟



- 第一種市街地再開発事業
- 札幌市関連事業
- 新設道路

その他の駅周辺整備

再開発事業を含め、様々な事業により駅周辺の整備を行います。

- a 都市計画道路篠路駅西通（駅前広場含む）の整備（平成20年度完成）
- b 自転車歩行者専用道路及び駐輪場の整備（平成21年度完成）



事業前の篠路駅周辺